

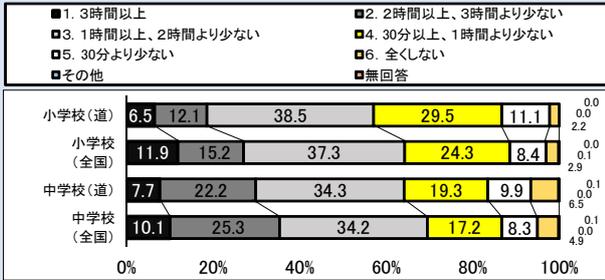
3 学習習慣、生活習慣の改善の方向性

① 学習習慣の確立

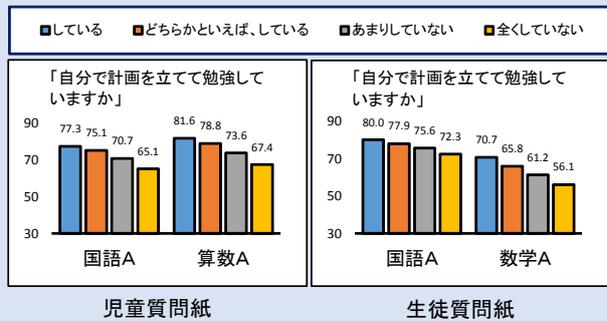
学習習慣に関する状況

〔児童生徒質問紙の全国との比較〕

「普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。」



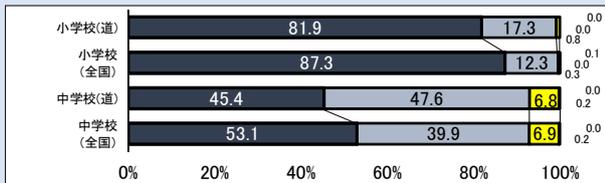
〔児童生徒質問紙と学力のクロス分析〕



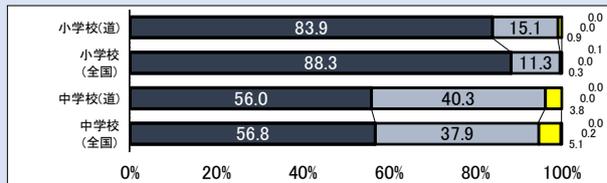
〔学校質問紙の全国との比較〕

■1.よく行った ■2.どちらかといえば、行った ■3.あまり行っていない ■4.全く行っていない ■その他、無回答

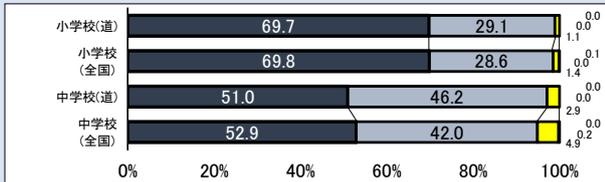
「国語の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか」



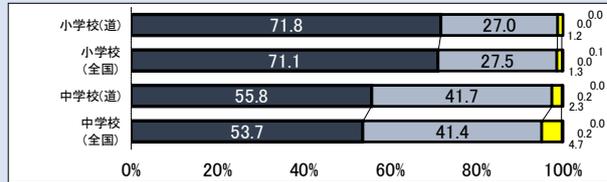
「算数・数学の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか」



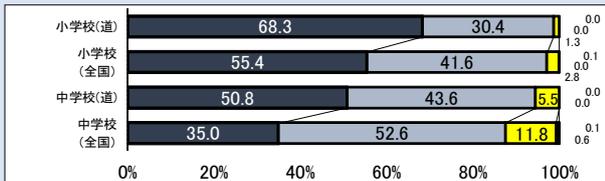
「国語の指導として、児童生徒に与えた家庭学習の課題(宿題)について、評価・指導しましたか」



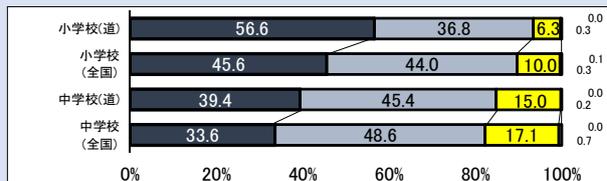
「算数・数学の指導として、児童生徒に与えた家庭学習の課題(宿題)について、評価・指導しましたか」



「保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか」



「家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか」



学習習慣に関する状況については、児童生徒質問紙では、「普段、1日当たりの勉強の時間」が、全国よりも短い状況が見られます。学校質問紙では、「保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか」「家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか」「算数・数学の指導として、児童生徒に与えた家庭学習の課題(宿題)について、評価・指導しましたか」の質問に対し、「よく行った」と回答した小・中学校の割合は、全国を上回っているものの、「国語、算数・数学の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか」「国語の指導として、児童生徒に与えた家庭学習の課題(宿題)について、評価・指導しましたか」の質問に対し、「よく行った」と回答した小・中学校の割合は、全国を下回っています。

また、それぞれの取組について、「よく行った」と回答した小・中学校の割合は、高い項目で80%を超えていますが、低い項目では40%を下回っています。

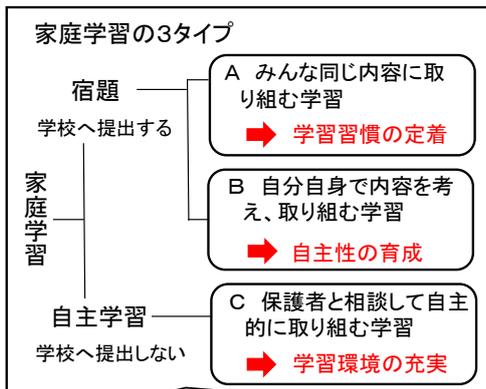
これらのことから、児童生徒の学習習慣を確立できるよう、各学校において家庭学習に関する取組を充実し、効果的に進めていくことが大切です。

授業と関連を図った家庭学習の取組

取組のねらい

家庭学習の意義を子どもと確認するとともに、授業と関連付けた家庭学習や宿題の取組を充実し、家庭学習の習慣を確立する。

① 家庭学習・宿題の意義の確認



宿題と自主学習の違いや特徴などを分かりやすく提示することで、児童が目的意識をもって主体的に家庭学習に取り組むことができました。

取組の概要

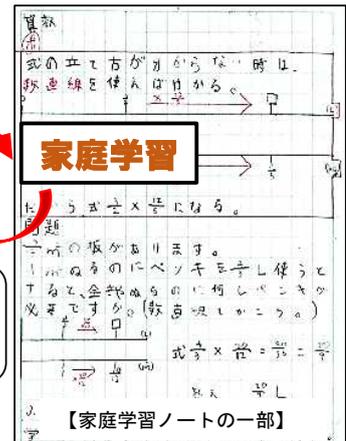
- ① 家庭学習や宿題の意義、効果的な取組を提示し、主体的な学習態度を育成するとともに、家庭学習の内容の充実を図る。
- ② 授業の振り返りの過程で、次時の見通しをもたせた上で学習内容の定着を図る宿題を提示する。

② 授業と関連付けた家庭学習・宿題の提示



【授業の様子】

振り返りの過程で、次時の見通しをもたせながら宿題を提示することで、授業内容と関連した家庭学習に取り組む児童が増えました。



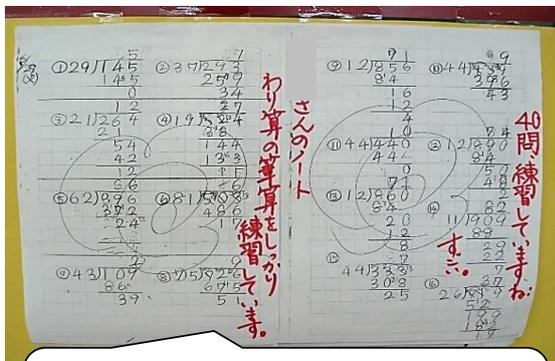
【家庭学習ノートの一部】

家庭学習の指導・評価の充実に向けた取組

取組のねらい

家庭学習の仕方を示したり、家庭学習を評価したりする取組を通じて、子どもの学習意欲を高め、家庭学習の習慣を確立する。

① よりよい家庭学習の提示

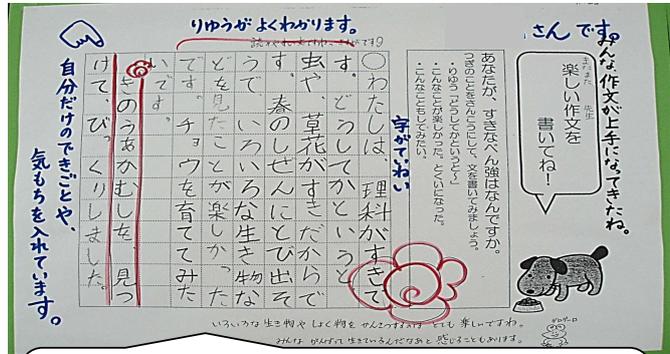


努力の見られた児童のノートを拡大して、多くの子どもたちが見ることができる場所に掲示し、日々更新していくことで、子どものやる気や取組内容の質を高めることができました。

取組の概要

- ① 教職員でよりよい家庭学習ノートについて共通理解を図るとともに、子どもに提示し、学習意欲を高める。
- ② 家庭学習への意欲付けや有効な支援について検討するとともに、児童の実態の応じた助言を行う。

② 添削やコメントの工夫



標準学力検査の結果、国語の「書くこと」に苦手意識をもつ子どもが多かったことから、教職員で、家庭学習の意欲を高めるための手立てについて話し合い、様々な作文の宿題を継続し、添削やコメントを工夫することに取り組みました。

家庭学習の習慣化に向けた家庭と連携した取組

取組のねらい

家庭学習記録カードに学習内容や時間、振り返り等を記録する取組を進め、家庭と連携して、家庭学習の習慣を確立する。

取組の概要

- ① 毎日、学習内容と時間を記述し、月末に自分の家庭学習の状況を振り返ることにより、翌月の家庭学習の充実に生かす。
- ② 週単位で、取り組んだ教科を記録することにより、自ら学習内容を判断し、バランスよく学習を進めることができるようになる。
- ③ 家庭学習に取り組んだページ数を点数に換算して記録することにより、児童の学習意欲を高める。

① 学習内容の記録

② 学習内容の決定

③ 点数化

日	得点	達成率
①	5	P
②	5	P
③	5	P
④	10	P

10日単位で、自分の学習量を見通し、予め設定した目標ポイントに向かって取り組むことにより、達成感や成就感を得られるようになりました。

家庭学習について教職員で共通理解を図る取組

取組のねらい

教職員で家庭学習について共通理解を図り、学校全体で組織的に取組を進めることを通して、家庭学習の習慣を確立する。

取組の概要

- ① 家庭学習の指導や評価の工夫についての研修会を実施し、教職員で共通理解を図る。
- ② 学年に応じた望ましい家庭学習ノートを掲示し、効果的な学習の仕方について周知するとともに、「家庭学習の手引き」を活用し、学校と家庭で役割の分担及び連携した取組を進める。

① 研修会の実施



効果的な取組や評価方法の工夫について検討する研修会を実施しています。

② 学校と家庭が連携した取組の推進



学年に応じた望ましい家庭学習の取組を掲示して、効果的な学習の仕方について周知しています。

学校と家庭の役割等を明確にした「家庭学習の手引き」を作成し、全家庭に配付しています。

